

概 要

清須市の緑で想像するものは？

- 清洲城・美術館周辺の緑地
- 五条川、新川、庄内川の水辺
- 歴史ある神社・お寺の樹木
- 身近な公園や道路の街路樹
- 水田・畑、生け垣の緑



身のまわりにはいろいろな緑があります

- 河川などの自然の緑地
- 公園などの公共施設の緑地
- 神社、水田・畑などの民有地の緑地



日常生活において緑はとっても大切です

環境を守ります

酸素を放出し、酸性雨の原因となる硫黄酸化物、窒素酸化物などを除去します。屋上緑化をしていると表面温度が下がり、ヒートアイランドの防止にも役立ちます。

災害を防止してくれます

山に木が生えていることで、降った雨は地中にしみ込み、洪水や土砂崩れを防いでくれます。

その他、**良好な景観**をつくったり、**生物の生態系を保全**するなど、わたしたちが生活するうえで多くの役割を果たしています。



清須市の緑の現況はどうなっているのか？

緑の指標である緑被率で見ると次のとおりになります。

	区域面積	水田・畑、草地及び水面	緑被率
市街化区域	1,261ha	216.60ha	22.0%
市街化調整区域	471ha	314.30ha	69.6%
都市計画区域（清須市全域）	1,732ha	530.90ha	34.9%

○都市計画区域における緑被率は標準的な割合になります。

清須市の都市公園の現況はどうなっているのか？

都市公園の面積等は次のとおりです。

	住民1人当たりの都市公園面積
都市公園	約4㎡

○清須市の住民一人当たりの都市公園面積は都市計画法の指針(10㎡/人)を下回っています。

概 要

市民の緑に対するニーズはどうなっているのか？

アンケート結果から、次のことが読み取れます。

- ①清須市は緑が豊かでないとお答えの方が多傾向にあります。理由としては、大きな公園がない、水辺と緑あふれる空間の整備がされていないなどのお答えが多くなっています。
- ②市の緑の現況をよく知らないとお答えの方が多傾向にあります。
- ③公園の維持管理を市といっしょに行いたいとお答えの方がとても多傾向にあります。



緑被率だけを見る限りは、特に緑は不足していないのですが・・・。
水辺の整備は計画的に進めてきたのですが・・・。

緑の基本計画を策定する趣旨は何ですか？

趣旨は様々ありますが、今見てきたことから次のことがうかがえます。

- ①日常生活において緑は大きな役割を果たしていることから、これからも緑について真摯に考える必要があります。
- ②緑被率の大半は水田と畑です。市街化が進む中、水田や畑は減ることが予想されるため、将来に向けて緑地を計画的に考える必要があります。
- ③住民一人当たりの都市公園面積が数字上では不足しているため、これからの都市公園のあり方を考える必要があります。
- ④市民の皆さんは市の緑の現況を知らない方が比較的多いことや市は整備を進めてきましたが市民の皆さんの受け止め方に多少ズレがあることから、市の緑の現況や今後の緑に関する計画など、きちんと情報を伝える必要があります。
- ⑤公園の維持管理など市民参加の傾向が高いことから、緑化の保全・推進にむけて市民協働のまちづくりをかたちにする必要があります。

都市緑地法第4条に基づき、まちの緑とオープンスペースの全てに関する総合的な計画である「清須市緑の基本計画」を策定します。

緑の基本計画を策定するにあたり次のように進めていきます

